

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (飯野高等学校 定時制)

平成29年5月17日

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> 充実した多文化共生教育やキャリア教育をとおして、多様な学習ニーズを有する生徒たちが自信と誇りをもって社会で生きる力を養成する学校。 生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育むことのできる学校。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> 自分から大きな声で挨拶をし、時間や期限を守り、適切な言葉遣いができるなど、社会人として必要な素養を習得することができる生徒。 漢字能力、計算能力、英語能力や外国人生徒については日本語能力など、社会生活を営むうえで必要な基礎学力を習得することができる生徒。 自他を大切にす豊かな人権感覚と自己有用感を持ち、人間関係形成能力の高い生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> 高い専門知識・能力と指導力を有し、情熱を持って教育活動に取り組み、生徒の意欲や向上心を喚起できる教職員。 学習指導や生徒指導等の教育活動において、ねばり強く生徒に接し、理解に努め、一人ひとりの生徒にきめ細かく対応できる教職員。 豊かな人権感覚を持ち、命の大切さを様々な学習活動の場で生徒に教え導くことのできる教職員。 新たな取組に積極的にチャレンジする向上心を持ち、他の教職員と協力して学校経営や教育内容の向上を目指すことができる教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>生徒:学力向上(日本語能力を含む。)と進路希望(進学・就職)の実現。 保護者:学校からの丁寧な情報発信や連絡によって学校と家庭が連携した子育て。 地域社会:定職を持ち地域社会の担い手なる人材の育成。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>中学校:不登校経験者や外国人生徒など多様な生徒の受け入れと中学高校間の連携強化。 事業所:基礎学力の向上と社会人マナーの習得。</p>	<p>中学校:目的意識を持ち、学校生活を適正に行うことのできる生徒の育成。 事業所:在学中からの雇用と卒業時の正規雇用への切り替え。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>①進路実現に向けての生徒の意識の向上を図るには家庭との連携を取りながら進めることが効果的である。 ②地域の活動に生徒を参加させることで、生徒たち自身の自尊感情も育つ。 ③生徒が自分で学習の達成度をチェックするしかけを作り、自分で自分をほめることをさせていくと生徒たちに元気が出てくる。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>定時制設立から7年目を迎え、教職員の不断の努力によって全体として落ち着いたよい雰囲気になってきている。一方で多様なニーズや課題を抱える生徒は増加傾向にある。さらなる発展に向けて以下を推進することが課題である。</p> <p>① 社会生活を営むうえで必要な規範意識を確立させること。</p> <p>② 適切な人間関係を形成する力、自分の置かれている状況をふまえて他者と協働できる力を育成し、自尊感情を高めること。</p> <p>③ 社会生活を営むうえで必要な基礎学力の定着及び日本語能力の向上に取り組むと共に、文化的なちがいを認め合い地域社会の構成員として共に生きる力を培うこと。</p> <p>④ 進路保障や生徒指導の充実のために関係機関との連携をいっそう強化し、個々の進路希望を実現させること。</p>
	学校運営等	<p>ますます多様化する生徒のニーズや課題に対応するために適切な情報把握と情報共有が必要である。生徒の学習意欲や基礎学力の向上のために、教員の授業力など資質向上にいっそう努める必要がある。</p> <p>① 生徒や保護者にとって安心安全な教育環境を整えること。</p> <p>② 生徒の多様なニーズに応えるため、職員の指導力、授業力などの資質向上に努めること。</p> <p>③ 教職員が充実した業務を行うため、総勤務時間の縮減や執務環境整備に取り組むこと。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>① 授業規律や出席を重んじるとともに、学習意欲を向上させ、安心して登校し落ち着いて学習に取り組むことができるよう生活・学習の両面から支援し、学力の向上を図る。</p> <p>② 自他を尊重する人権意識と自己有用感を高め人間関係形成能力を育成する。</p> <p>③ 進路保障の充実を図る。特に外国人生徒の進路保障に向けて一層強化する。</p> <p>④ 特別支援体制の充実や個に応じた生徒指導を推進するために外部との連携を取りながら効果的な支援体制を構築する。</p> <p>⑤ 地域教育力の導入及び生徒が地域や小中学生と交流を行うなど、地域に目を向けさせ、地域に貢献できる人材を育成する。</p>
学校運営等	<p>① 生徒や保護者にとって安心安全な教育環境を整えるために、適切な情報管理と生徒・保護者のニーズの把握を行うと共に、生徒・保護者・地域への情報提供を推進して定時制生徒への理解と協力を深める。</p> <p>② 生徒の多様なニーズに応えるため、JSLカリキュラムや特別支援教育に関する研修等を推進し教員の資質向上に努める。</p> <p>③ 生徒の学習意欲や学力の向上のために相互参観や研修を行い、授業力向上を推進する。</p> <p>④ 教職員が充実した業務を行うため、総勤務時間の縮減や執務環境整備に取り組む。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
① 授業規律の確立、学習意欲の向上、安心して学習に取り組むことができるための生活・学習の両面からの支援、学力の向上のための取り組み (生徒指導) (保健指導) (学習指導)	(1) 規範意識の確立 ○活動指標:校内、校外の巡回指導を毎日実施 ○成果指標:問題行動による特別指導件数年間 15 件以下 (2) 基本的な生活習慣の確立 ○活動指標:保健だよりによる啓発、年間10回以上 ○成果指標:生活アンケートにおいて「朝食をとる」50%以上、「0時までに就寝する」50%以上 (3) 学習意欲の向上・授業を大切にす意識づけのための取組 ○活動指標:校務支援システムによる出欠管理と日常的な出席促進指導を行う ○成果指標:学び支援受講者数の減少(のべ500人以下) (4) 基礎学力の向上・わかりやすい授業のための工夫 ○活動指標:授業公開・授業改善日を設定し(年間 5 日)、生徒からの授業評価を行う ○成果指標: ・生徒の授業満足度評価4(4段階評価) 70%以上 (5) 授業規律の確立 ○活動指標: ・非常勤講師も含め、出席・授業態度等の授業規律について教員間で意思統一を図り、全教員で一致して指導を行う ・学びノートの活用と定着 ○成果指標: ・単位修得率 80%以上		※ ◎ ※ ※

<p>② 自他を尊重する人権意識と自己有用感を高め人間関係形成能力の育成 (人権教育) (生徒指導)</p>	<p>(1) 自他を尊重する人権意識や自己有用感に裏付けられた自尊感情の涵養 ○活動指標:面談による個人相談を年5回実施 ○成果指標: いじめ認知件数3件以下</p> <p>(2)命を大切にする教育の充実 ○活動指標:アンガーマネジメントやセルフコントロールトレーニング・人権を大切にするをテーマにした講演会やワークショップを前期、後期各1回以上実施する。 ○成果指標:100%実施</p> <p>(3) 人間関係形成能力の育成 ○活動指標:なかもづくりを目的とした学校行事を年4回実施 ○成果指標:アンケート調査における満足度が各回とも75%以上</p>		<p>◎</p> <p>※</p>
<p>③ 進路保障の充実 (進路指導)</p>	<p>(1) 個々の生徒のニーズに応じた求人開拓 ○活動指標 ・企業訪問および企業説明会での対応企業数 30 社 ○成果指標: ・就職希望者の正規採用増加 昨年比 2 倍 ・卒業予定者の就職希望の求人充足</p> <p>(2)キャリア教育プログラムの構築 リアルな職業観・勤労観を育成するキャリア教育(社会人基礎講座)を計画的に実施する ○活動指標:キャリア教育・社会人基礎知識の指導講座、体験型学習等を年間8回以上実施 ○成果指標:総合学習の満足度 4段階の4 60%以上</p> <p>(3)進学希望者の進路実現ための取り組み ○活動指標:進学希望者の進路実現のための受験科目の教科による個別指導を行う ○成果指標:進学希望者の合格率 100%</p>		<p>◎</p>

<p>④ 特別支援体制の充実、個に応じた生徒指導を推進するために、外部との連携や効果的な支援体制の構築 (特別支援教育) (生徒指導)</p>	<p>(1)学校の構造化を推進し、教育環境を整えながら合理的配慮の提供方法を検討する ○活動指標:授業担当者会議、ケース会議の開催 ○成果指標:支援を要する生徒の「個別の教育指導計画」100%作成</p> <p>(2)関係機関と連携した生徒指導の充実 ○活動指標:SSWや関係機関との連携による個々の生徒に応じた適切な生徒指導、支援を行う ○成果指標:月に2回以上のSSWの活用</p> <p>(3)きめ細かな教育支援体制づくり ○活動指標:SCと連携して個々の生徒に適切な支援を行う。 ○成果指標:休学者数の減少(昨年32人)</p>		◎
<p>⑤ 地域に貢献できる人材を育成するために、外部教育力の導入及び生徒による地域交流 (地域連携)</p>	<p>(1)地域人材を活用した講演会やワークショップの実施 ○活動指標:講演会等の月間1回以上の実施 ○成果指標:生徒の満足度評価4 70%以上</p> <p>(2)地域奉仕活動 ○活動指標:地域清掃奉仕活動を年1回実施する ○成果指標:100%実施</p>		◎

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>① 生徒や保護者にとって安心安全な教育環境の整備、適切な情報管理、生徒・保護者のニーズの把握、生徒・保護者・地域への情報提供 (情報管理) (サービス遵守)</p>	<p>(1)生徒・保護者のニーズの把握 ○活動指標:生徒・保護者アンケートの実施 年間1回 ○成果指標:100%実施</p> <p>(2)生徒・保護者・地域への情報提供 ○活動指標:・年5回以上メールを配信する ・毎月ホームページを更新する ○成果指標:100%実施</p> <p>(3)学校情報や個人情報の適切な管理 ○活動指標:情報管理状況点検 年間1回実施 ○成果指標:100%実施</p> <p>(4)サービス遵守のための取り組み ○活動指標:コンプライアンス研修 年間1回実施 ○成果指標:100%実施</p>		※
<p>② JSLカリキュラムや特別支援教育等に関する研修等の推進、資質向上 (研修推進)</p>	<p>(1)教職員研修の充実 ○活動指標:「授業力向上のための研修」、「外国人生徒や特別な支援の必要な生徒を指導する力を向上させるための研修」、「命を大切にする教育を推進するためにアンガーマネジメントやセルフコントロールトレーニング等に関する研修」等年間5回以上実施</p>		◎

	○成果指標:100%実施		
③ 生徒の学習意欲や学力の向上のための、相互参観や研修等教員の授業力向上の推進 (授業改善)	(1)授業改善・教科指導力の向上のための取り組み ○活動指標:教員の相互参観による「授業見学シート」を活用した相互研修及びアクティブラーニング等授業研修の実施 ○成果指標:全教員が相互参観を100%実施		◎
④ 総勤務時間の縮減や執務環境整備 (職員健康管理) (職場環境改善)	(1)総勤務時間の縮減と環境整備 ○活動指標:①休暇の取得昨年比+1日 ②教職員休養室の環境整備 ○成果指標:①全教職員が取得 ②職員満足度(「職場にホッと一息つける場所がある」昨年平均2.4ポイント)の向上		※